

内閣総理大臣杯争奪第35回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会への支援について  
～JOMOサンフラワーズの選手たちがエキシビションに参加～

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、社会貢献活動の一環として障害者スポーツを支援するため、本年4月下旬に開催される「内閣総理大臣杯争奪第35回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会」に協賛しておりますが、このたび、当社女子バスケットボール部「JOMOサンフラワーズ」が35回記念イベントとして行われるエキシビションに参加し、障害者スポーツの振興に協力することいたしました。
2. 日本車椅子バスケットボール選手権大会は、「障害者がスポーツを通じて体力の維持増強、機能回復等の向上を図り、明朗快活な性格と協調精神を養うことによって自立更正の充実と明るい生活形成に寄与するとともに、社会の正しい認識を高めること」を目的として、日本車椅子バスケットボール連盟および財団法人日本障害者スポーツ協会の主催により毎年開催されております。
3. 車椅子バスケットボールは、健常者のバスケットボールとほぼ同じルールで行われ、スピード感や迫力があることから、障害者スポーツの中でも人気の高い種目となっております。エキシビションでは、JOMOサンフラワーズの選手が車椅子バスケットボールを体験するとともに、本年7月にオランダで開催される世界車椅子バスケットボール選手権大会に出場する女子日本代表チームの選手たちとの混成チームによるエキシビションマッチなどを行います。
4. また、当社が「バスケットボールの振興」と「地域社会への貢献」に資することを目的として、1995年から開催しているバスケットボール指導教室「JOMOバスケットボールクリニック」の専任コーチである萩原美樹子(元WNBA選手、アトランタオリンピック出場)や大山妙子(アトランタ・アテネオリンピック出場)、楠田香穂里(アテネオリンピック出場)らが参加するほか、当社社員もボランティアとして大会運営に協力する予定です。
5. エキシビションの概要は次のとおりです。
  - (1)日時:2006年4月30日(日)12:00～13:00(予定)
  - (2)場所:東京体育館(東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1)
  - (3)内容:車椅子バスケットボール全日本女子チーム紅白戦、バスケットボール & 車椅子バスケットボール合同パフォーマンス、JOMOサンフラワーズ車椅子バスケットボール体験、車椅子バスケットボールスペシャルエキシビションマッチなど
  - (4)参加者:JOMOサンフラワーズの選手、JOMOバスケットボールクリニック専任コーチ、アムステルダム世界車椅子バスケット選手権大会女子日本代表チーム
6. なお、当社は、障害者スポーツ支援を社会貢献活動の重点分野と位置付け、NPO法人日本パラリンピック支援機構(注1)やNPO法人スペシャルオリンピックス日本(注2)を支援するため、クリック募金(注3)を通年で実施しており、今回の支援もその一環であります。
  - (注1) 日本パラリンピック支援機構  
障害者スポーツを支援する目的で設立されたNPO法人。
  - (注2) スペシャルオリンピックス日本  
知的発達障害者にスポーツトレーニングと成果発表の場を提供する国際的スポーツ組織。
  - (注3) クリック募金  
当社ウェブサイト上の専用アイコンをクリックすると、クリックをした本人に代わって、当社がクリック数に応じた金額(クリック1回につき1円換算)を寄付する仕組み。

● 【参考資料】

- ▶ [内閣総理大臣杯争奪第35回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会の概要](#)

以上